

発表・報告題（タイトル）・発表・報告者名等はMSゴシック体

共同研究(実践)者は、グループ名や所属等ではなく、実際に研究(実践)に携わった人の個人名を明記してください。

発表・報告題（タイトル） ～ サブタイトル ～
 発表者名：
 所 属：
 共同研究(実践)者名：

【研究(実践)の目的】

- ・研究(実践)の対象とそれに取り組む理由
- ・研究(実践)によって実現したい(達成したい)ゴール

【研究(実践)の方法】

- ・研究(実践)の方法に関する簡単な説明
- ＜研究発表の場合＞
 目的・期間・調査対象(属性・範囲・時点・選定基準)・方法等を記載してください。
 ▶例：滋賀県内の～の実態を把握するため、○年○月から△月、滋賀県在住の中・高校生
 □名に対し「～に関する実態調査」のアンケートを～の協力を得て実施した。
- ＜実践報告の場合＞
 誰に(対象者)・どこで(場所)・何を活用して(手段)・どのような働きかけや取組み(介入・援助・サービス等)を行ったのかを記載してください。

【倫理的配慮】

- ・対象者の同意・プライバシーの保護
- ・個人情報の管理及び個人情報が特定されないような記載
- ▶例：個人が特定できないように十分な倫理的配慮を行った。また、発表にあたり～の承認(または同意)を得た。協力辞退も可能であることを事前に説明した。

【結果・考察】

- ＜結 果＞
- ・研究(実践)によって得られた結果、発見や所見
- ・アンケート調査の場合、対象者数に対する回収状況(回収数・有効回収率)を記載後、個々の結果を記載
- ＜考 察＞
- ・結果からわかるメリットやデメリット
- ・仮説に対する結論や継続研究(実践)の有無
- ・最初に提起した問題や疑問についての答え・考え

【引用・参考文献】※引用・参考文献がある場合、＜記載方法＞のとおりに記載してください。

- ＜引用文献＞
- ・理論的背景や考察を論じるとき、他者の考えや研究結果を間接的に、あるいは原典のまま引用したもの
- ＜参考文献＞
- ・自分の論述を展開する中で示唆を受けたもの、あるいは自分の研究と特に関わりの深い論文や著書
- ＜記載方法＞
- 書 籍：著者、書名、出版社、発行年、ページ
- 論 文：筆者、表題、雑誌名、巻号、発行年月、ページ
- 新聞記事：見出し、紙名、年月日
- Web ページ：表題、サイト名、閲覧日、URL

項
目
は
M
S
ゴ
シ
ッ
ク
体

本
文
は
M
S
明
朝
体

箇
条
書
き
表
記
は
×